

NEWSLETTER

No. 82

10 January 2023

- ・2022年地理学教室の行事記録 1
- ・2022年度地理実習の記録 2
- ・卒業論文公開口頭試験について 9
- ・2022年度卒業論文公開口頭試験日程 10
- ・地理学教室が発信する各種情報のQRコード 13

【2022年 地理学教室の行事記録】

- 2月7日～9日 卒業論文公開口頭試験（10号館10212教室）
- 3月29日～4月6日 在学生・新入生ガイダンス・オリエンテーション
- 5月25日～26日 地理学野外実習A（1年生実習：日帰り2日：専任教員6名）川崎市麻生区黒川地区
- 5月29日 地理学野外実習D（加藤コース：東京都品川区とその周辺）
- 6月4日 地理学野外実習D（長谷川コース：多摩川両岸周辺）
- 6月18日 国土館大学地理学会 総会・講演会（MCH1階 大教室）
<総会>
<講演会>近藤建斗先生（本学卒業生、(株)エアロネクスト Community Manager、
(株)NEXT DELIVERY SkyHub プロジェクト執行役員、国際航業(株)）
「来るドローン前提社会と各産業用途の利活用
ー物流、空間情報のユースエースを中心にー」
- 7月22日 卒業論文公開口頭試験（10号館10213教室）
- 8月30日～9月3日 測量実習3（集中：村上真幸先生）
- 9月14日 国土館大学地理学会 夏季巡検
観光地熱海の衰退と再生（静岡県熱海市；引率教員・内田順文・磯谷達宏）
- 9月28日～29日 地理学野外実習B（2年生実習：日帰り2日：専任教員6名）
長谷川：神奈川県三浦市・横須賀市 内田：千葉県銚子市・茨城県つくば市
磯谷：東京付近の各緑地 加藤：東京都武蔵野市
桐越：埼玉県川口市とその周辺 佐々木：群馬県みなかみ町、東京都世田谷区
- 10月1日 地理学野外実習D（佐々木コース：東京都北区・文京区・台東区、板橋～王子～上野）
- 10月8日 地理学野外実習D（桐越コース：東京都中央区築地とその周辺）
- 10月15日 地理学野外実習D（内田コース：秩父市三峰地区）
- 10月28日～31日 地理学野外実習C（3年生実習：3泊4日：専任教員）
長谷川：東京都神津島 内田：大阪市・奈良市とその周辺
磯谷：愛媛県今治市とその周辺 加藤：北海道深川市とその周辺
佐々木：愛媛県大洲市とその周辺 桐越：大阪府柏原市とその周辺
- 11月5日 地理学野外実習D（磯谷コース：城ヶ島）
- 12月24日 国土館大学地理学会 研究発表会・講演会（MCH1階 大教室）
<研究発表会> 内倉彩希・村河希望・落部功大（長谷川ゼミ海岸地形班）／
中山英明／田島規覇也／中村凌・井上輝星・長島あんり・渡辺康太・會澤智弘
（佐々木ゼミ肱川あらし班）／上田恒太／北澤太智／山海世鼓
<講演会> 加藤幸治（本学教授）
「日本における医療サービスへのアクセシビリティの地域間格差」

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、地理ワークショップショックは実施できませんでしたが、懇親会を除き国土館大学地理学会の活動も通常並みにできるようになってきました。

【2022 年度地理実習の記録】

地理学野外実習A：5月25日（水）・26日（木）に日帰りにて実施

◎長谷川・内田・磯谷・加藤・佐々木・桐越

実施地：川崎市麻生区黒川地区・多摩キャンパス

参加学生数 66名（男子 51名，女子 15名）

テーマ：丘陵地の自然環境と人間生活

目的：多摩地区における丘陵地の土地利用に関する調査を行い，地形と土地利用の関係，都市化や宅地化の進行の特徴やその要因等について考察することを通じて，地理調査や地理的思考法の基本を体得する。

課題：図表を含めて 400 字詰め原稿 10 枚以上相当のレポート。

提出日時・・・6月28日（火）「地理学入門ゼミ」講義時間中に提出。



写真1 初日：小田急線黒川駅前に集合



写真2 班ごとに調査を行います：黒川よこみね緑地にて



写真3 午後には多摩校舎にて初日のまとめ



写真4 二日目の調査開始！ 農産物直販所にて



写真5 長谷川先生・佐々木先生のお話を聞く



写真6 最後は再び多摩校舎でまとめを行いました

地理学野外実習B（2年生対象）：9月28日（水）・29日（木）に日帰りにて実施

◎長谷川

実施地：神奈川県三浦市 三浦半島南部と城ヶ島

参加学生数：5名（男子5名）

テーマ：海岸段丘、砂浜海岸や岩石海岸の
特徴的な地形を学ぶ。

内容：①：海岸段丘や段丘を刻む谷地形の観察
②：砂浜海岸に見られるカスプの観察と計測
③：岩石海岸と離水ベンチの観察。
④：海食洞の成因
⑤：タフォニの観察と計測
⑥：クリノメータ、ハンドレベル使い方と簡易計測
⑦：地層の観察方法

以上の内容を通じて、地形・地質の基礎的な観察方法を学んだ。

課題：調査結果をもとに、A4版20枚程度のレポートを作成する。



長谷川班：段丘面をおおう火山灰を見たかったのですがあまり良い露頭ではありません。

◎内田

実施地：千葉県銚子市、茨城県つくば市

参加学生数：7名（男子7名）

テーマ：風景の鑑賞法と観光地の場所イメージの解説

内容：①東京からの日帰り観光地を風景論の視点から記述し、その結果を比較する。
②地元の自治体や観光業者が、その場所のイメージをどのように利用しているかを、記号論的な観点から考察する。

課題：レポート1：首都圏の日帰り観光地としての「銚子」と「つくば」の風景の特徴とその地域性について、レポート2：観光地の記号としての「観光イメージ」



内田班：銚子市の犬吠埼灯台前で

◎磯谷

実施地：1日目 神奈川県立東高根森林公園・川崎市生田緑地

2日目 国立科学博物館附属自然教育園・明治神宮御苑

参加学生数：9名（男子8名、女子1名）

テーマ：東京付近の自然林と二次林の植生地理

内容：東京付近でみられる異なるタイプの森林植生を対象として、履歴や環境条件に応じて成立する森林の分布と生態について、植生地理学的な視点から観察・調査した。調査結果について、参加者各自の着眼点も重視しつつとりまとめる。

課題：指示された項目にしたがって、対象とした森林植生の特徴とその広域的な位置づけについて、図表を含めてA4版20枚程度のレポートとしてとりまとめる。



磯谷班：武蔵野の面影が色濃く残る、明治神宮の「御苑」にて。

◎加藤

- 実施地：東京都武蔵野市
参加学生数：8名（男子7名，女子1名）
テーマ：東京都武蔵野市におけるコンビニエンスストアの立地展開
内容：対象地域におけるコンビニエンスストアの立地について，過去のデータのデータと比較しながら，その変遷を把握し，立地の要因を考察する．仮説をいくつか立て，それを立証するための調査を行うようにする．これを通じて，経済地理学的な調査の方法・経済地理学的見方・考え方の基礎を学ぶ．
課題：調査結果に関する図表を作成し，調査結果にもとづいた内容についてレポートする．



◎佐々木

- 実施地：1日目 群馬県みなかみ町土合
(湯檜曾川・一ノ倉沢)
2日目 東京都世田谷区 羽根木公園
参加学生数：11名（男子9名，女子2名）
テーマ：多雪山地における地形と植生の観察
羽根木公園周辺における気温の観測
内容：みなかみ町土合地区の湯檜曾川上流部において多雪地域の山地に典型的にみられる雪崩地形と植生景観を観察した．また，湯檜曾川支流の一ノ倉沢では氷成堆積物や土石流堆積物を観察した．2日目の羽根木公園においては，公園内と周囲の住宅地において気温の定点観測と移動観測を実施し，公園緑地における気温の低下効果を明らかにした．
課題：調査結果とそれにもとづく考察を A4 版 20 枚程度のレポートにまとめる．



◎桐越

- 実施地：埼玉県川口市
参加学生数：12名（男子12名）
テーマ：埼玉県川口市における外国人の増加要因
内容：埼玉県川口市において，外国人居住者が近年増加している要因を考察する．事前に在日外国人に関する資料から増加要因の仮説をたて，現地調査を通じて仮説の検証をおこなう．初日は，蕨駅を中心に，集住地域の住環境に関する調査を実施する．2日目は西川口駅と川口駅周辺において，外国人との共生に向けた市の取り組みや街並みの特徴などを調査する．
課題：仮説と照らし合わせるかたちで，調査結果にもとづいた内容をレポートにまとめる．



地理学野外実習C（3年生対象）：10月25日（火）～28日（金）実施

◎長谷川

実施地：伊豆神津島

参加学生数：10名（男子7名，女子3名）

テーマ：伊豆神津島の多様な自然環境を探る

内容：各自の興味に応じて以下のグループに分かれて調査を実施した。

①：神津島で見られるテフラを探る

②：岩石海岸と砂浜海岸の成り立ちを探る

③：群発地震で多発した崩壊の原因と対策を探る

④：防災対策と住民の意識を探る

以上の内容を通じて、自然環境の基礎的な観察方法を学んだ。

課題：調査結果をもとに、A4版20～30枚程度のレポートを作成する。



長谷川ゼミ：

大規模な土石流堆積物です。覆う、覆われるの関係がよくわかりました。

◎内田

実施地：大阪市および奈良市とその周辺

参加学生数：14名（男子12名，女子2名）

テーマ：学生各自でテーマを設定し、現地調査を行う。

内容：「大阪府箕面市八幡太神社の信仰圏について」

「兵庫県伊丹市における伊丹大使によるイメージづくり」

「関西圏におけるプロ野球ファンの分布特性」

「道の駅における活性化の取り組みと地域への影響」

「大阪府枚方市と高槻市における百貨店の地位低下と存続理由」

「アグリツーリズムの変化に対応した観光農園経営者の適応戦略」

「嵯峨鳥居本地域における景観変化と住民意識」

「大阪環状線の発車メロディの歴史と利用状況」

「世界遺産登録推進室が地域にもたらす影響」

「橿原市今井町における伝統的建造物保存地区の景観保全の実態」

「新型コロナウイルス感染症がもたらした温泉地へのニーズの変化について」

「大阪市日本橋における商業集積地の特徴」など。

課題：各自設定したテーマにしたがって、現地で得たデータをもとに分析・考察を行う。



内田ゼミ：初日に宿泊した奈良のホテル前で

◎磯谷

実施地：愛媛県今治市とその周辺

参加学生数：7名（男子7名）

テーマ：愛媛県北東部の生態地理

内容：愛媛県今治市付近で見られる動植物の生態地理について、各自が事前にテーマを設定して調査を行った。具体的に選ばれたテーマは、「森林植生の分布と樹種構成」「海浜植生の分布と組成」「河辺草原の分布と組成」「中大型哺乳類の生態地理と獣害」「アブラコウモリの生態地理」「セイタカアワダチソウ群落の訪花昆虫群集と環境条件」および「河川の水生動物相と生態地理」であった。

課題：図表を含めてA4版30枚程度のレポートとしてとりまとめる。



磯谷ゼミ：ドングリを調べている里山班（森林・中大型哺乳類・訪花昆虫の調査者）

◎加藤・岡島

実施地：北海道深川市とその周辺

参加学生数：19名（男子17名，女子2名）

テーマ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う。

内容例：深川市内の農業生産，深川市の子育て環境，深川市の人口動向と高齢者・若年層の意識，深川市のカフェ・喫茶店の立地とその利用者，深川市・滝川市における宿泊業者の現状，留萌市における宿泊業の動向，留萌本線・留萌駅の廃止に関する住民の意識，旭川市におけるコインランドリーの立地，旭川市におけるスポーツ政策とスポーツ店の立地 他

課題：各自のテーマについて、『卒業論文の手引き』にもとづき，レポートをまとめる。



加藤ゼミ+岡島ゼミ：解散直後の写真（調査の都合で写っていない人も多くいます）

◎佐々木

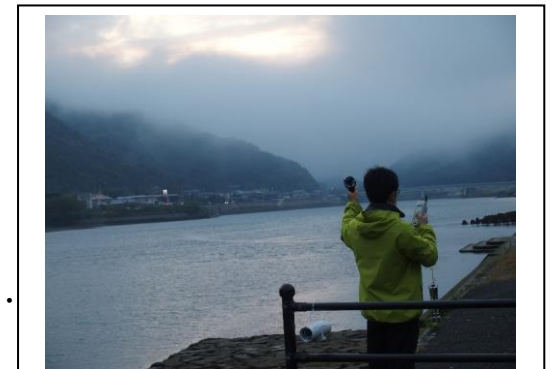
実施地：愛媛県大洲市

参加学生数：13名（男子11名，女子2名）

テーマ：大洲盆地における気温分布の観測，局地風「肱川あらし」および海陸風の観測，平成30年7月豪雨による肱川の河川洪水災害に関する調査，平成30年7月豪雨による土石流の調査

内容例：気温調査班は大洲市街地とその周辺において気温の定点観測と移動観測を実施し，市街地においてヒートアイランドが形成されることを確認した。肱川あらし調査班は肱川沿いの5地点で風向風速，気温・湿度を観測するとともに，大洲盆地における気温の鉛直分布を調査し，盆地における冷氣湖形成と肱川あらし吹走の関係を確認した。河川洪水災害の調査班は，肱川沿いの氾濫原の土地利用や河床の堆積物の調査，および平成30年7月豪雨による越水箇所や浸水地域の調査を行い，肱川における河川水害発生の特徴を明らかにした。土石流調査班は，平成30年7月豪雨によって発生した土石流の発生域と堆積域の調査を複数の地点で行い，土石流の規模を明らかにするとともに，土石流発生に関わった地形・地質の素因を明らかにした。

課題：調査結果とそれにもとづく考察をA4版30枚程度のレポートにまとめる。



佐々木ゼミ：「肱川あらし」の特徴を捉えるための風向・風速および温・湿度の観測

◎桐越

実施地：大阪府柏原市周辺周辺

参加学生数：13名（男子8名，女子5名）

テーマ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う

内容例：柏原市における怪異と地蔵の分布からみる境界性，柏原市のブドウ・ワイン生産の流通実態，生野区における韓国人コミュニティの変容と受入社会，柏原市における駅前開発，近鉄道明寺線の実態調査，柏原市のサイクルスポーツ観光の実態，奈良市における子育て支援の実情，「奈良クラブ」の認知度と地域との関わり，柏原市の環境と伝統産業。

課題：各自のテーマについて、『卒業論文の手引き』にもとづき，レポートをまとめる。



桐越ゼミ：宿泊先のゲストハウスにて、夜の調査報告会

地理学野外実習D（2年生以上対象の選択科目）：日程はコースにより異なる

◎長谷川

実施日：6月4日（土）
実施地：川崎市高津区、東京都世田谷区の多摩川周辺地域
参加学生数：6名（男子6名）
テーマ：2019年台風19号の被災地を巡る
内容：多摩川周辺で起こった内水氾濫による被災地を巡り、土地条件、地形や土地利用、河川改修を見学した。
課題：見学地の観察記録を10枚程度にまとめる。



◎内田

実施日：10月15日（土）
実施地：埼玉県秩父市三峰地区
参加学生数：4名（男子4名）
テーマ：観光地のイメージの解説：
秩父・三峰地区の「新しい観光」
内容：人里離れた山奥にあるにもかかわらず、パワースポットというイメージによって、休日には行列ができるほどの観光地となっている三峰神社と、近年、無人の村に放置された大量の「かかし」がキモカワイイということで典型的な過疎の集落が観光客の注目を集めている旧贅川宿の「かかしの里」の2つの観光地を訪ね、その観光現象の実態について観察・調査する。
課題：「宗教観光地の風景について」と「旧贅川宿における『かかしの里』の意味」についてレポートをまとめる。



◎磯谷

実施日：11月5日（土）
実施地：三浦半島城ヶ島
参加学生数：1名（男子1名）
テーマ：城ヶ島の地理－植生を中心－
内容：城ヶ島で特徴的にみられる地理的事象について、植生を中心に観察し、地理学的な観察方法の基礎を学んだ。具体的な観察項目は、地形面とその発達史、海岸植生の生態地理的系列とおもな構成種、陸上動物の生態地理、観光業と水産業、土地利用とその変遷などである。
課題：上記の内容を踏まえつつ、参加者各自の視点を重視したレポートを作成する。



◎加藤

実施日：5月29日（土）
実施地：東京都品川区とその周辺
参加学生数：12名（男子12名）
テーマ：交通・流通拠点としての品川とその歴史
内容：テーマについて理解するエクスカージョン（現地見学）を行う。訪問先は以下のようなところ。光学通り／品川歴史館／大井町駅付近／広町工業団地・工場アパート／ソニー大崎工場跡（大崎シンクパーク）／旧東海道／品川神社・富士塚／品川インターシティ／高輪・白金台地区
課題：エクスカージョンで学んだこと・興味あったことについて、レポートをまとめる。



◎佐々木

実施日：10月1日（土）

実施地：東京都板橋区・北区

参加学生数：6名（男子6名）

テーマ：武蔵野台地本郷台とその周辺の地形の観察

内容：武蔵野台地を流れる石神井川は、武蔵野台地に浅谷を形成し、かつては現在の北区・王子の飛鳥山の西側で南流して現在の東上野・不忍池付近に流れていたが、河川争奪によって飛鳥山の北側で武蔵野台地を侵食して東方に流れるようになった。こうした地形の配置を実際に歩いて体感するとともに、飛鳥山博物館では台地や沖積低地の地層の剥ぎ取り断面を観察し、この地域の地形の発達について考察した。また洪水に対する様々な取り組みとともに石神井川の河川環境についても理解した。

課題：調査結果とそれらにもとづく考察をA4版4枚程度のレポートにまとめる。



◎桐越

実施日：10月8日（土）

実施地：東京都中央区 築地駅および新新橋駅周辺地域

参加学生数：8名（男子8名）

テーマ：GPSを用いたトラックデータの取得方法とGPSのデータを地図上に表示させる方法を知る

内容：東京都中央区、築地周辺地域においてGPSを用いた測定をおこない、自らの歩いた道筋を地図に表した。また、外国人居留地跡や海軍発祥の地などを回り、築地駅周辺地域の歴史の変遷に関する解説をおこなった。GPSのデータから、各班の報告と行動ルートを比較して分析し、レポートを作成した。

課題：GPSの計測結果をGoogle Earth上に示すとともに、調査内容にもとづいたレポートをまとめる。



【卒業論文公開口頭試験について】

地理学教室では、卒業論文の審査が公平になされるよう各々の論文を2名の教員が閲読し、さらに公開口頭試験の結果を加味して合否を決めています。今年度も下記の通り、卒業論文の口頭試験が行われ、試験の結果から卒論の評点が決まります。試験は、持ち時間9分の口頭発表とそれに続く質疑応答です。発表者はあらかじめ卒論の要旨、図表などをまとめたレジュメを用意し、出席者に配布できるよう準備してください。また、質疑応答の際に必要な卒業論文のコピー、その他卒論作成に使用した資料や参考文献のコピーなどは、必ず持参してください。(公開口頭試験の際に提示を求められる場合があります)。これらは卒論の合否が決まるまで処分しないこと。

就職が決まり、試験当日に社内研修などが予定されている4年生は、就職予定先に事情を説明し、研修欠席の手続きを済ませておくようにしてください。

なお評価の結果、優秀な卒論2編は、全国地理学専攻卒論発表大会(2023年3月15日・オンライン形式)で発表してもらいます。発表者は2月9日中に決定し、すぐに通知する予定です。また、優秀な卒業は国士舘大学地理学報告に修正の上、掲載してもらおう予定です。これも2月9日中に決定し、連絡します。

日時：2023年2月7日(火)、8日(水)、9日(木) 9:05～
場所：世田谷校舎 10号館2階 10212教室 (2月7日・8日)
世田谷校舎 10号館3階 10329教室 (2月9日)

注意事項(4年生はよく読んでおくこと)：

- ※ 試験時間は、1人18分(発表9分、質疑応答9分)です。発表者は発表用原稿を必ず用意し、あらかじめ発表の練習をしておくこと。発表の内容はもちろん、発表の手際や発表の態度なども審査の対象となります。なお、発表時は予鈴7分、本鈴9分の合図があります。
- ※ 発表に際しては、必ず以下の要領でレジュメを用意しておくこと。レジュメの文字部分は基本的にワープロによって作成のこと。図表等のタイトル・注は同。図表ははさみと糊で切り貼りしても構わない。
- 1. レジュメは、論文題目、氏名、論文の要旨(目的・方法・結果を書く。字数が多くなりすぎないようにするとよい)、説明に使用する図表によって構成する。
- 2. レジュメの枚数は、A3サイズで2枚横書き(図表を含む)とし、各自40部ずつ用意する(自費でコピーのこと)。図表がカラーでないと判別しにくい場合はカラーコピーするか、口頭試験用に図表を白黒で描き直すこと(発表時の図表の不鮮明さが評価を下げる・減点につながることもあるので注意のこと)。
- 3. レジュメは、発表者交代の合間に次の発表者が配るものとする。その際、まず教員に配ること。各日の朝一番目の発表者で、責任を持って依頼できる学友がいる人は、前日の最終発表者のレジュメ配布を学友に頼んでも構わない(ただし問題があれば責任は依頼した人にあるので、注意のこと)。
- 4. レジュメの文章をそのまま読むような発表は控えること。口頭試験用の発表原稿を別に用意して、発表することが望ましい。
- ※ 発表では、パワーポイントも使用できる。使用するパソコンは原則としてあらかじめ用意されたパソコンを使用すること。発表用ファイルは、午前に発表の者は発表当日の朝、午後に発表のある者は昼休みにパソコンのデスクトップにコピーしておくこと。発表時にUSBメモリー等から起動すると、手間取るケースが多い。自分のPCにケーブルを差し替える場合も同様である。それらの時間も発表時間に含めるので、あらかじめ用意のPCにコピーしておく方法で行うこと。
- ※ 地域調査士の資格取得に向けては審査前事前請求制度があり、3月中に認定証を受け取ることができます。資格取得希望者は、1月末(以降)に日本地理学会資格専門委員会から郵送される書類を熟読し、同封されている申請書に必要な事項をすべて記入のうえ(顔写真も必要)、口頭試験日程期間中に主査へ提出すること。その後、副査が記名・押印し、一括して返却する。この機会をのがすと「地域調査士認定委員会が指名する者の認定」が面倒なことになるので、卒業予定者は必ずこの機会に行うこと。
- ※ 3年生は卒論作成の参考のため、また来年の口頭試験のためにも、出席して複数のセッションを聞くようにすること。1,2年生も感染症対策に留意しつつ半日程度以上は出席のこと。2年生にとっては3年以降の専門分野(ゼミ)の選択する上で、もっとも参考になる行事なので、多くの発表を聞くことが自分のためにもなります。来場・発表聴取の際は規定の書類等持参の上、入場前の手洗いなど、感染症対策を徹底のこと。なお換気のために暖房等が十分行き届かないことが予測されるため、防寒対策にも留意しておくこと。

【2022 年度卒業論文公開口頭試験日程】

氏 名	題 目	主査	副査	地調	GIS
2月7日(火) 9:05~12:10 <進行:磯谷>					
原 大智	地域特性を活かした温泉地づくりー長野県浅間温泉を事例にー	桐越	内田		
鍋島 向日葵	香取市における「偉人」を通じた観光促進 ー伊能忠敬記念館を事例にー	桐越	内田	○	
今若 流	人口減少地域における人口増加へ向けた取り組み ー島根県出雲市四絡地区と伊波野地区を例にー	桐越	加藤	○	
三宅 海音	東京の中心地六本木におけるアフリカ料理店の役割と人々の関わりー東京都港区「アフリカンホームタッチ」を事例にー	桐越	加藤	○	
杉崎 由規	地理的要素が食文化の地域展開に及ぼす影響 ー勝浦市の事例としてー	桐越	内田		○
中村 航也	交通アクセスが観光地の入込客数に与える影響について ー栃木県日光市を事例にー	桐越	内田	○	○
黒澤 匠皓	土地条件の違い同一区内における大型地震に対する防災意識調査 ー東京都世田谷区世田谷地域・北沢地域・多摩川地域を対象としてー	内田	佐々木		
吉川 さくら	つくば霞ヶ浦りんりんロードにおけるサイクルツーリズムとサイクリストの行動特性	内田	桐越	○	
松村 美沙希	東日本大震災遺構のその後の活用について ー宮城県の小中学校・高等学校を事例としてー	内田	佐々木	○	
鹿内 由伸	重要伝統的建造物群保存地区における町並み保全と地域社会ー千葉県香取市佐原地域を事例としてー	内田	桐越		
12:55~15:30 <進行:佐々木>					
清水 裕大	かすみがうら市出島地区の祇園祭における儀礼の地域差と現状	内田	桐越	○	
佐々木 美空	愛知県岡崎市における地域密着型 You Tuber「東海オンエア」の観光への影響力について	内田	桐越	○	
矢吹 未瑠	並行路線の利用駅選択について ー田無駅・武蔵境駅を事例としてー	内田	加藤		
滝澤 颯太	神奈川県愛川町における日系三世の日本語習得過程	桐越	内田		
竹浦 創地郎	湘南鎌倉地区における観光地選択に Instagram が及ぼす影響と SNS におけるインフルエンサーの役割	桐越	内田		
松本 貴晃	外国人定住化時代におけるキリスト系施設とその役割 ーカトリック梅田教会を例にー	桐越	加藤	○	
狩野 瑞輝	野球の競技成績における地域差と変遷について ー全国高等学校野球選手権大会と全国中学校軟式野球大会を事例にー	桐越	内田		
塩山 拡	埼玉県川越市におけるベトナム人の集住化とコミュニティの実態について	桐越	内田		
15:45~18:15 <進行:佐々木>					
白石 黎	日本のサッカースタジアムの複合化の現状と地域との連携	桐越	内田	○	
倭 彩華	大河ドラマ「鎌倉殿の13人」から見る観光行動 ー静岡県伊豆の国市を事例にー	桐越	内田		
金光 泰誠	長崎県佐世保市の土地利用変遷	加藤	磯谷	○	○
三井 海人	第三セクター化した鉄道の現状と課題ーしなの鉄道を事例にー	加藤	内田	○	
富田 晃平	広島県福山市におけるグリーンスローモビリティの展開	加藤	磯谷		
高橋 元將	成田空港における航空貨物の現状と課題	加藤	長谷川	○	
志村 敏太	上溝バイパス開通による地域の変容ーバイパスと旧道を中心にー	加藤	長谷川	○	○

亀澤 秀太	過疎地域における公共交通の現状と課題 －貨客混載路線バスが通る東京都檜原村の交通を事例として－	加藤	長谷川	○	○
2月8日(水) 9:05~12:10 <進行:加藤>					
奴田原 怜史	高知県宇佐湾周辺の海岸域に生息する大型陸鳥類の分布と行動	磯谷	佐々木		
石原 慈晏	三浦半島における海岸低木林の組成と分布の比較	磯谷	長谷川	○	
横山 璃空	千葉県房総半島南部におけるキョンとニホンジカによる常緑低木アオキの採食状況	磯谷	長谷川		
山田 裕大	九十九里浜南部における海浜植生の変遷と現状 ーとくにヘットランド建設にともなう砂丘草原の変化に着目してー	磯谷	長谷川	○	○
尾身 青耶	砂防設備の分布と地質の関連性についてー吾妻川流域を例にー	長谷川	佐々木	○	
早津 侑世	神奈川県城ヶ島における波食棚の差別侵食について	長谷川	佐々木	○	
速水 隆仁	農業的土地利用が及ぼす河川水質への季節的な影響について ー篠井川とその支流を例にー	長谷川	磯谷	○	○
大橋 鋼	多摩丘陵の大規模地形改変の経時変化について ー時間的・位置的及び改変様式の変化に着目してー	長谷川	磯谷	○	
泉 隆盛	沖永良部島のサンゴ礁にみられる縁溝ー縁脚系について ーその指向性と水平方向への発達に着目してー	長谷川	佐々木	○	○
榎本 寛大	沖永良部島屋子母海岸でみられるサンゴ礁微地形の変化について	長谷川	佐々木	○	○
12:55~15:30 <進行:佐々木>					
田波 優成	東京湾北東部の浚渫埋立地における二次草原の変遷および現状とその成因	磯谷	長谷川		
松井 洋輔	荒川上流域の河辺草原植生 ーとくにシカ不嗜好性植物に着目してー	磯谷	長谷川	○	
堤本 拓馬	埼玉県比企郡におけるアライグマ (<i>Procyon lotor</i>) の生息状況および獣害と住民の反応	磯谷	長谷川	○	
八木 優光	飛騨山脈大日岳南斜面における風衝草原の分布と組成 ーとくにササ草原の変動に着目してー	磯谷	佐々木		
小笠原 彩乃	埼玉県秩父市におけるオオカミ信仰の土着化と変容 ー三峯神社を事例にー	桐越	内田	○	
岩澤 健三郎	ローカル番組の影響ー「出沒!アド街ック天国」を事例にー	桐越	内田		
井上 慶一	小田原城の土地利用と建設プランの変遷	加藤	内田	○	
杉本 祐輔	備前渠用水路の歴史地理	加藤	内田	○	○
15:45~18:15 <進行:磯谷>					
上保 寛貴	和歌山城下町の歴史的変遷	加藤	内田	○	○
南 琉奈	足利市における景観計画の変遷と住民・観光客意識	加藤	磯谷		
長谷川 蓮	千葉県におけるボウリング場の立地	加藤	桐越	○	○
小林 将太	近年における回転寿司チェーン店の立地展開ー横浜市を事例にー	加藤	内田		
神 もね	東京都練馬区における特別養護老人ホームの立地とその危険度	加藤	長谷川	○	
仲田 萌々花	下北沢名称を用いた物件立地からみる下北沢地域の範囲	加藤	桐越	○	○
土屋 佳代	横浜市栄区における人口増加の要因ー住宅開発の観点からー	加藤	桐越	○	○
田口 博基	東京都杉並区高円寺における古着屋の立地と集積	加藤	桐越		

2月9日(木)

9:05~12:10 <進行:加藤>

八田 隼輔	高知県竜串海岸におけるタフォニの形状分析 ーフォトグラメトリー手法を用いてー	長谷川	佐々木	○	○
大矢 彩佳	三浦半島の砂浜海岸におけるマイクロプラスチックの分布特性	長谷川	磯谷	○	○
金子 大夢	北海道札幌市における積雪期のヒートアイランド現象	佐々木	磯谷		
関野 寛太	荒川の変遷 1976年と2022年を比べて	佐々木	長谷川		
野島 僚真	都市内緑地における夏季のクールアイランド現象ー千葉県白井市南山公園を例にー	佐々木	磯谷	○	○
向井 達哉	日本と中国における現代に生きる人々の環境保全に対する意識	佐々木	磯谷		
高橋 大空	神奈川県秦野盆地における夏季と秋季の気温逆転層 ー海風・山風に着目してー	佐々木	磯谷		
大澤 和輝	東秩父村東斜面における土地利用状況 ー高度・傾斜・地すべりの観点からー	佐々木	長谷川		
松尾 歩	三浦半島における地すべりの分布について	佐々木	長谷川	○	○
石塚 りさ	北海道・渡島における1993年の冷害について	佐々木	磯谷		

12:55~15:30 <進行:内田>

佐藤 飛鳥	北海道胆振東部地震における液状化被害について	佐々木	長谷川		○
高橋 慶輔	都市部における公園緑地の冷却効果と海風が周辺市街地に与える効果ー東京都世田谷区の砧公園を事例にー	佐々木	磯谷	○	○
園部 廉	カルデラ内の大規模地すべりと重力変形との関係	佐々木	長谷川		
二村 竜樹	小規模緑地による大気冷却効果 ー富士見公園, 武蔵野公園, あさひ公園の事例ー	佐々木	磯谷		
正木 智章	河川の減熱効果について ー河川の幅に注目してー	佐々木	磯谷		
古舘 弘基	都市河川における災害対応の変遷と街の発展について(京都、鴨川の研究を通じて)	佐々木	長谷川		
徳永 啓汰	東京都と愛知県における家電量販店の立地展開	加藤	桐越	○	○
大南 寛人	柏駅前商店街の変容と大型店の影響	加藤	磯谷	○	

15:45~16:40 <進行:桐越>

加藤 舞大	山形県鶴岡市における電気・電子機器工業の従業員構成と賃金水準	加藤	佐々木	○	
阿部 迅利	東京都におけるリユースショップの立地展開	加藤	内田	○	○
齊木 虎之介	東京23区におけるメガネチェーン店の立地展開	加藤	磯谷		

注. 地調: 地域調査士取得希望者, GIS: GIS 学術士取得希望者

【地理学教室が発信する各種情報のQRコード】

地理学教室ではニューズレターの他に、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムでも情報を発信しています。ぜひご覧ください。



ホームページのQRコード



フェイスブックのQRコード



インスタのQRコード